

令和5年6月 吉野町教育委員会定例会議 会議録

日時：令和5年6月20日（火）午後3時30分～ 場所：町中央公民館4F 教育長室

出席者：吉野町教育委員会 教育長 教育長職務代理者 委員3名

事務局 4名

1, 開会挨拶

2, 審議案件

議第1号 後援名義の申請について

① 名称 第3回吉野音街道 【資料1】

申請者 吉野音街道実行委員会 委員長 柴田 光明

② 名称 みんなでペルセウス流星群をみよう 【資料2】

申請者 三奇楼星空同好会 代表 南 達人

③ 名称 夏のかしはらワークショップ 【資料3】

申請者 THE KASHIHARA 総支配人 小川大三郎

④ 名称 第34回津風呂湖ボート大会 【資料4】

申請者 津風呂湖観光協会 会長 東 喜彦

上記①②③④質疑応答・異議なく、全会一致で承認。

議第2号 吉野町立学校園学童訪問の総括について…【資料5】

委員：元気に学習に向かう姿を見ることが出来たし、こども園の園児達は元気よく朝の動きから始まって、やりたい事に集中して遊ぶ姿があった。子供たちが学んでいる姿を見た時に感動するものがあった。社会に出て行った時に、立派に吉野で育ったことを返していけるような人材を育て、また帰ってきてもらうリカレント教育や、生涯教育に繋げていくことが大事だと子ども達を見ながら思った。よしのこども園の旧プールのシャワーとプールを撤去すれば、人数が増えた時に遊び場や他に活用できるのではないか。さくら学園の体育館の暑さ対策に冷風機等を入れてはどうか。

委員：小中一貫さくら学園が一年間経ってどんな運営をしているのか、中のソフトや状況を含めてみたいとかねがね思っていた。予想より良い状態で子どもたちの動きや先生方の良い動きが出来ている。いろいろな教育課題が出てきたが、一貫校にしたことによって次の変化に対する吉野町の教育基盤ベースが出来たと実感している。よしのこども園裏の製材所の看板が気になったので、出来るだけ早く対応して欲しい。

委員：長時間バスに乗っている児童の祖母が迎えに行った時に、校長先生や教頭先生に声をかけてもらって、いろいろな話が出来てがんばれたことを伺った。一年やってみて先生方の一生懸命な思いが伝わってそういうことになっていく。サクランボ教室や学校に行きにくい子たちの対応で来れるようになってよかった。成長が出来るということは先生方の努力に加えて保護者とのコミュニケーションがとれているのではないか。

議第3号 吉野町立認定こども園の具体的方策について【資料5】

委員：制服の結果が興味深い。余りこだわりをもっていないようだ。保護者の方と話し合いを大切にする。最終決めていくのはどこなのか？

教育長：先生方中心の専門部会に保護者に入って頂いて意見を頂こうと思っている。

委員：さくら学園は検討委員会でいろいろな事を決めていったが、規模的に小さくということですか。

教育長：専門部会の結果は、教育委員会と教育振興審議会に諮り最終決めていく。スケールは小さいが、より現場の先生やより保護者の意見のウエイトが高い形になる。進む道は一緒、教育委員会を経て振興審議会を経て、最後は町長の入る総合教育会議を開かせていただく形になる。

議第4号 夏期休業中の学校閉庁について【資料6】

異議なく、全会一致で承認。

議第5号 コミュニティ・スクール導入について【資料7】により事務局説明

委員：学校運営協議会という1つの制度なので、更に高い所を目指してこの組織をつくることによって広がる。組織をつくるといろいろな規制や校長も協議会の承認を得なければいけないとか、本来よりやらなければならない事が増える。作るとは反対ではない。学校運営協議会をつくることによって、どのように働くのか理解しにくいところがある。

教育長：吉野町の学校は縮小傾向にある。いろいろな組織もそうである。園も学校も一つになる縮小傾向の中で、自分の地域の学校であればしっかり持っていた関わりを、吉野町でひとつの学校になると敷居が高くなる。学校の活動を円滑にするための方法のひとつである。自分の学校と思ってもらえるように、さくら学園はみんなの学校であって欲しい。

委員：今の保護者は関わりが少ない。若い世代は気持ちも行動も薄らいできている。保護者も地域もみんなの動きに繋がる組織作りをする。組織が重荷にならないようにやりたい人がスムーズにいくよう、人が集まるような形の組織をつくって欲しい。

教育長：地域本部にはみんな参加できる。エネルギーを集約できればよい。

委員：パートナーシップが出来た時、協議会の意味がよくわからなかった。組織にくくられるのはやりにくい。町内に6つ学校があった時には中竜門、吉野、中荘にお話会があった。繋がりがあれば入りやすかったが今一つになって、活動に入りたい人にとっては入りに行く面もあるが、このような形の組織があれば、学校と繋いでもらいやすいように思う。

教育長：この仕組みがないと学校と地域が乖離してしまう。じっくり広報しながら進めていく。組織が出来た来年度以降も理解を深めながら、教育委員さんには地域の方に上手く説明していただけることを期待している。

3. 報告案件

報第1号 教育総務課事務事業の進捗状況について…【資料8】事務局説明

報第2号 生涯学習課事務事業の進捗状況について…【資料9】事務局説明

4. その他事項

教科書採択の年である。教育長室にある教科書をお手すきの時に見て欲しい。

次回日程：7月21日金曜日 午後14時00分～場所：町中央公民館4F 教育長室

5. 閉会挨拶